

令和4年9月8日

水稲生産者の皆さまへ

西濃農林事務所 農業普及課

JAにしみの

「トビイロウンカ」の注意報が発令されました！

岐阜県病害虫防除所は9月8日、秋ウンカと呼ばれる『トビイロウンカ』が県内水田の複数個所で確認されたことから、トビイロウンカの注意報を発令しました。

トビイロウンカは、大陸から気流に乗って移動してくるイネ害虫で、もともとは熱帯地域に生息しており、本州では越冬できませんが、飛来後には短期間で急激に増殖し、吸汁による被害を引き起こします。

晩生品種で出穂期以降に多発すると、『坪枯れ』と呼ばれる、イネ株が急激に萎凋して円形に枯れる症状が発生し、令和2年産では晩生品種を中心に大きな被害が発生しました。

JAの育苗センターでハツシモに使用されている「ブーンゼクテラ箱粒剤」等の使用と、出穂前後の防除によるウンカ対策剤を合わせて実施していない水田では、特にウンカに注意して下さい。

つきましては、現在注意報が発令されている「斑点米カメムシ」の防除を兼ね、予防的防除に努めてください。（防除をしない場合の減収率は、最大7割となる場合もあります。）

【ほ場(坪枯れ)の様子】※令和2年産の様子



【注意事項】

- ・使用する農薬によって、農薬散布後の収穫前日数が異なりますので注意してください。
- ・区域によって、特別栽培米やぎふクリーン農業等栽培方法が異なります。また、一斉空中防除を実施している地区もありますので、防除方法については各営農経済センター・各支店までお尋ねください。

【防除薬剤例】

(令和4年9月7日現在の登録状況)

薬剤名	規格	10a 散布量	収穫前日数	総使用回数	無人へり登録
スタークル粒剤	3kg	3 kg	収穫7日前	3回以内	×
スタークル豆つぶ	250g	250g	収穫7日前		×
スタークル液剤10	500ml	1,000倍、100 ^{リットル}	収穫7日前		○